

2023年度
学校関係者評価報告書
(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年7月31日

学校法人東北文化学園大学
東北文化学園専門学校

「2023 年度自己点検・自己評価報告」に伴う学校関係者評価について

「2023 年度東北文化学園専門学校自己点検・自己評価報告書」の説明に基づき、学校関係者評価委員会を開催し、各委員の意見を取り纏めた報告書を作成しましたので、ここに 2023 年度を対象とした「学校関係者評価報告書」を公表いたします。

1978 年に東北文化学園専門学校の前身である宮城デザイン専門学校が仙台駅前に産声を上げ、より良い学習環境を求めて、現在の国見地区に移転したのは 1990 年。当時は東北文化学園専門学校単体で 2 千名を超える在学学生を擁し、JR 仙山線国見駅の朝夕の通学時間帯はまさしく大混雑と伺いました。

また、1998 年、同一キャンパス内に大学を開設し、全国的にも秀でた教育環境の下で専門学校教育の充実を図り、それぞれの分野でスペシャリストを養成。2015 年には文部科学大臣から職業実践専門課程の認可を受けるなど、医療技術・総合福祉・建築デザイン・医療ビジネス分野の 7 科・2 専攻科を持つ総合専門学校として、実に 2 万 7 千名を超える卒業生を輩出してきました。

一昨年前の 12 月に、まさに青天の霹靂ともいえる、2023 年度生をもって以降の東北文化学園専門学校学生募集を停止する発表がありました。その後開催された学校関係者評価委員会に於いて、佐藤直由校長先生より募集停止に至った経緯の説明では、十数年前までのオープンキャンパスは大学、専門学校半々の高校生参加があったものの、その僅か数年後から大学参加者が多くなり、近年では専門学校参加者が全体の 2 割程度に減少してきたこと。この現実、専門学校の組織改革や教育内容の充実を図るなど、工夫、努力を重ねるも、入学者の減少に歯止めがかからず、今後において学生募集に大きな改善は見込めないとの判断から、学生募集停止という苦渋の選択をしたことを伺い、高校生の大学志向と進路選択の多様化、そして避けられない 18 歳人口減少の波。まさに時代の趨勢をひしひしと感じさせられるものでした。

2023 年度を振り返る今、キャンパス内に新入生の声はなく、専門学校の伝統が潰える現実を誰よりも感じているだろう教職員の方々。「2023 年度自己点検・自己評価報告書」の報告・説明を、失礼ながら一抹の不安を覚えながら受けたとき、先生方が一丸となって在校生一人ひとりを思い、検定や資格取得対策の継続、そして進路決定まで、真摯に取り組む姿勢に、全ての不安が払拭されました。

基準 1 から 10 までの全 65 項目の評定について、56 項目を適切に対応している「評価 4」、3 項目を適切だが課題があるとする「評価 3」、他 6 項目については学生募集活動等に関するものとして「非該当」と纏めています。閉科・閉校に向かいながらも、在校生に対する教育の質を担保すべく、経験豊かな教員採用継続や在校生全員の就職内定に向けた関連業界との連携継続等、常に学生ファーストの教職員の姿勢に頭が下がります。今年度末をもって視能訓練士科を除く 6 科は閉科になりますが、この難局を教職員一丸となって乗り切っていただけるものと確信しています。

私共、学校関係者評価委員として何ができるのか、在籍している学生のために役立つ提案とは何なのか、今まで以上に考えさせられ、また、考えなければなりません。2023 年度の自己点検・自己評価報告を踏まえ、教育の質向上と学生の未来に向けた提案を通して、間接的に、時には直接的な支援等、全面的な協力を行っていく所存です。

2024 年 7 月 31 日
東北文化学園専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 中里 仁

1. 評価対象期間

2023 年度

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

2. 学校関係者評価委員会

全体委員会：2024 年 6 月 12 日

委員間意見調整：～7 月 5 日

報告書作成・点検：～年 7 月 24 日

報告書提出：2024 年 7 月 31 日

3. 実施方法

- (1) 東北文化学園専門学校自己点検および自己評価運営委員会が作成した「2023 年度自己点検・自己評価報告書」について、法人理事会承認を経た後の、2024 年 6 月 12 日に開催された学校関係者評価委員会全体会にて詳細説明を受けています。
- (2) 2024 年 7 月 5 日を各委員の意見締め切り日として集約、確認し、それぞれの基準について（改善方策も含め）適切であったか評価判断の協議を行いました。
- (3) 最終原案を 2024 年 7 月 24 日に纏め、7 月 31 日に正式報告書として学校に提出いたしました。

※尚、基準 1～10 までの各委員の意見については、全て公開することとしています。

4. 学校関係者評価委員

【外部委員】2024 年度

委員長 中里 仁	NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター理事
1 号委員	(社会福祉法人東北福祉会 せんだんの杜 総合施設長)
委員 栗原 憲昭	宮城県建築士事務所協会名誉会長
1 号委員	(盛総合設計 会長)
委員 曾根 利恵	宮城県診療情報管理研究会幹事
1 号委員	(仙台赤十字病院 医事課診療情報管理係長)
委員 郡山 知之	東北大学アイバンク理事
5 号委員	((株)日本眼科医療センター 代表取締役)
委員 須藤 智裕	東北文化学園専門学校同窓会 会長
6 号委員	

【オブザーバー（自己点検及び自己評価運営委員会）】

委員長 佐藤 直由	校長
副委員長 熊谷 猛	教頭
委員 二本柳 淳子	医療技術学科長兼視能訓練士科長
渡辺 英隆	総合福祉学科長兼社会福祉科長
宇川 雅晴	医療ビジネス学科長
佐竹 正行	建築デザイン学科長
馬場 健二	専門学校事務部副部長

「2023 年度対象」学校関係者評価報告書一覧

1. 自己点検・自己評価の項目

2023 年度は以下の基準 1～基準 10 になります。

- 基準 1 教育理念・目的・育成人材像
- 基準 2 学校運営
- 基準 3 教育活動
- 基準 4 学修成果
- 基準 5 学生支援
- 基準 6 教育環境
- 基準 7 学生の募集と受け入れ
- 基準 8 財務
- 基準 9 法令等の遵守
- 基準 10 社会貢献・地域貢献

2. 評価項目に対する評価

各基準（1～10）の小項目毎に自己点検・自己評価が適切か否かの判定を行っています。
また、判定の根拠、学校関係者評価委員個別の意見はそのまま下段に収載しています。
尚、自己点検・自己評価の小項目評価に付されている 1～4 の数字は下記のとおりです。

※ 4：適切 3：やや適切 2：やや不適切 1：不適切

自己点検・自己評価項目（基準 1⇒4 項目）

基準 1 教育理念・目的・育成人材像		
1-1	理念・目的・育成人材像	
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4

学校関係者評価—適切

意見

- ・学生募集停止、学生減の状況下だからこそ教育力の維持を掲げ、新たな教員採用を行った点を高く評価します。
- ・関連科との更なる連携強化、キャリアパスの構築は人材を育成するうえで重要なポイントだと考えます。その点に注力されたことを高く評価し、成果が上がることを期待いたします。
- ・コロナ 5 類移行後も続いた学外実習への教職員の真摯な対応を高く評価します。

- ・関連業界の知見や業界ニーズをしっかりと取り入れた目標となっていると思います。達成に向けて引き続き工夫しながら取り組んでいただければと思います。
- ・学生のサポートをより充実させ、社会に貢献できる人材を育成することを期待します。
- ・学生がモチベーションを高く持って学習できる環境構築を期待します。
- ・育成人材に関しましては、社会に出てからのコミュニケーション能力の低さを感じております。授業の中でも学生の参加型の授業を今以上に取り入れてはいかがでしょうか。
- ・「アップデート教育」は、社会の変化に対応するためにとっても重要です。学生が最新の知識と技術を修得し、即戦力として活躍するために、カリキュラムの継続的な見直しと実践的な教育を継続していただきたい。
- ・多職種との連携が重要視される現代において、協調性とコミュニケーション能力の育成は不可欠です。学生が効果的にチームで働く力を養えるような教育を期待します。

自己点検・自己評価項目（基準2⇨7項目）

基準2 学校運営		
2-2	運営方針	
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4
2-3	事業計画	
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4
2-4	運営組織	
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	4
2-5	人事・給与制度	
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	4
2-6	意思決定システム	
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4
2-7	情報システム	
2-7-1	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3

学校関係者評価—適切

意見

- ・前年同様の意見となりますが、学校運営に限らず組織運営にとって「学校運営方針」の明確化とその実行、具現化は欠かせない事項だと考えます。今年度もその実現に向け、御校の職員・教員の皆さんの更なる連携、理念と方針に対する共通認識の共有と強化を期待しております。

- ・「学校運営方針」の具現化に最も重要な点は、「教員・職員がどれだけ一丸となれるか」だと考えます。職務分担、責任の明確化に尽力されたことを評価します。今年度も期待しております。
- ・組織運営の要である「意思決定システム」がしっかりと整備されていることを評価します。
- ・各情報システム、特にユニバーサルパスポートを有効に活用し業務効率化されている点を評価します。効果的に活用ください。
- ・適切に取り組まれていると思います。情報システムをますます活用し、学生への就職支援の充実を期待します。
- ・サイバー攻撃への対応などへのセキュリティ対策を適切に実施できるような体制を維持していただければと思います。
- ・学生に不利益が生じないシステム構築を期待します。
- ・学生募集を行っていない事からも、今在籍している学生へのアプローチが中心となると思います。資格をしっかりと取得できる体制を期待いたします。
- ・時代の変化や学生のニーズに応じた柔軟な対応を期待します。
- ・情報システムの活用による業務効率化は、学生指導や成績管理の適切なデータ管理と、教職員間での情報共有の円滑化につながり、迅速な意思決定と効果的な指導に繋がります。

自己点検・自己評価項目（基準3⇒13項目）

基準3 教育活動		
3-8	目標の設定	
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方法を定めているか	4
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
3-9	教育方法・評価等	
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
3-9-2	教育課程について外部の意見を反映しているか	4
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	4
3-9-4	授業評価を実施しているか	4
3-10	成績評価・単位認定等	
3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
3-10-2	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4
3-11	資格・免許の取得の指導体制	
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4

3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4
3-12	教員・教員組織	
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4
3-12-2	教員の資質向上への取り組みを行っているか	4
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	4

学校関係者評価—適切

意見

- ・ 昨年同様、教育目標の設定、特に教育レベル達成の明確化のさらなる充実を期待しております。
- ・ 国家資格・各種資格認定試験の取得向上に向けた更なる体制強化を望むとともに、その結果を出している点を高く評価します。
- ・ 教員の資格向上への取組みは他校においても大きな課題となっております。教職員研修会の開催、公開授業の実施、授業評価等しっかりと行われている点を評価します。
- ・ 変化が激しい時代ではありますが、教育の質の維持に努めることを期待します。継続的な教育やフォローアップを引き続きお願いします。
- ・ 資格や検定の合格率は学内外で評価される基準です。各種検定に合格できない学生に対してのフォロー学習や、別な検定への受験案内等、不合格者に対するきめ細やかなフォロー対応を期待します。
- ・ 多様化する学生に対して、個々のレベルに合わせた学習方法の提案や、就職等のサポートに期待します。
- ・ 教育活動の目標は資格取得がマストと考えます。初心に帰り入学してきた意味を今一度理解させて教育活動を行うことを望みます。
- ・ 学生が最新の知識と技術を身につけ、実社会で即戦力として活躍できるようにするため、今後も継続的なカリキュラムの見直しを期待しています。
- ・ 教員の資質向上のために定期的な研修を実施していることは非常に評価できます。
- ・ 教育活動の成果についてフィードバックを通じて評価し、改善点を見つけ出す姿勢は素晴らしいと感じます。このような取り組みを継続し、さらに多くのフィードバックを活用し、教育の質の向上をさせていくことを期待しています。

自己点検・自己評価項目（基準4⇒3項目）

基準4 学修成果		
4-13	就職率	
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4
4-14	資格・免許の取得率	
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	4
4-15	卒業生の社会的評価	
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	3

学校関係者評価—適切

意見

- ・「求められる人物像」の明確化が就職に繋がります。外部委員や企業・福祉事業所等意見をもらい、人物像の明確化に注力ください。
- ・「総合的な就職セミナー（企業・福祉現場の生の声を聴く）」を積極的に実施されている点を評価します。
- ・卒業生の社会的評価の把握は重要です。キャリアサポートセンターとの情報共有を評価します。今年度も期待しております。
- ・進路決定率をみますと先生方のご努力の成果が感じられます。引き続き資格取得や、卒業生などの外部との連携強化を期待します。
- ・就職希望の学生への就職内定率 100%は高く評価できます。より就職先へのミスマッチがなくなるよう学生の企業研究へのアドバイスや希望条件に沿う就職先決定支援を期待します。
- ・卒業生の活躍は在校生の学習モチベーション向上に繋がると思います。卒業生の活躍を知る機会の創出を期待します。
- ・学習成果は資格取得と就職率の向上だと思います。結果が残せるよう先生方のご指導に期待いたします。
- ・キャリアサポートセンターの充実したサポート体制は非常に評価できます。学生の満足度も高いと感じます。
- ・ウェブ上での求人検索や履歴書のダウンロードなど、リモート対応の充実は評価できます。
- ・現場で働く外部講師との連携による実践教育は、非常に有効と考えます。学生が実際の現場を知ること、具体的なスキルと知識を身につけることができる点が評価できます。

自己点検・自己評価項目（基準5⇒12項目）

基準5 学生支援		
5-16	就職等進路	
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
5-17	中途退学への対応	
5-17-1	退学率の低減が図られているか	4
5-18	学生相談	
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	4
5-18-2	留学生に対する相談体制を整備しているか	非該当
5-19	学生生活	
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
5-19-3	学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	4
5-19-4	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4
5-20	保護者との連携	
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4
5-21	卒業生・社会人	
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	4
5-21-2	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	非該当
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	非該当

学校関係者評価—適切

意見

- ・5類移行後もコロナ感染対策をしっかりとされている点を評価します。
- ・キャリアサポートセンターへの専任職員の配置、個別対応について高く評価します。
- ・山積する業務のなか、教職員の皆様にとって大変な状況であることも承知しながら、今後とも学生優先（若者の夢、学びの権利を守る意味を含め）の支援にご努力されることを切に願います。
- ・退学者に対する対応（理由の把握と支援）に加え、「メンタルヘルス」への対応、学生担当教員の配置について高く評価します。引き続き「学生中心（学ぶ意欲のあるもの）」の支援とご対応お願いいたします。
- ・同窓会の充実は教育機関の財産だと思います。学生募集停止後の既存の同窓会への何らかの支援を期待します。
- ・学生へあらゆる分野でサポートされていると思います。コロナ5類移行後は、予防指導やリモートはもちろんですが、コロナ禍でできなかった支援やコミュニケーション戦略等を復活させてほしいです。

- ・多くの企業が Web 試験を実施している状況で、学生へ IT 技術支援や IT マナーの講習などの充実を期待します。
- ・経済的理由で退学を検討する学生が多い状況下で、特に緊急的な奨学金等の情報を学生と保護者へ案内できる体制の構築を期待します。
- ・うつ病や適応障害になる前に、学生自身が気づき早期に対応できるようにメンタルヘルスについて広く周知し、相談室に繋がられるような体制づくりが必要と感じます。
- ・卒業生などの支援体制は現在しっかりしていると思いますが、今後、専門学校が無くなってから（閉鎖）はどのような体制になるのか不安を感じます。今後の体制等周知をお願いいたします。
- ・学生相談室が設置され、学生の個別相談に対応する体制が整っている点は非常に評価できます。
- ・奨学金制度や学費減免制度が整備され、学生が安心して学業に専念できる環境が提供されている点は評価できます。
- ・緊急時の経済支援制度も整備されていることは、予期せぬ困難に直面した学生にとって大きな助けになります。今後もこの支援体制を維持し、学生が利用できるよう情報提供を続けていくことを期待しています。

自己点検・自己評価項目（基準 6⇒4 項目）

基準 6 教育環境		
6-22	施設・設備等	
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4
6-23	学外実習、インターンシップ等	
6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4
6-24	防災・安全管理	
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4

学校関係者評価—適切

意見

- ・他校でも講師を務めておりますが、他の専門学校、短期大学と比較しても御校の教育設備の内容は充実していると実感しております。
- ・学外実習、インターンシップ体制は、他校と比べ確立強化されているものと考えます。

- ・防災や安全管理における施設設備改善への充実が図られていると感じました。引き続き計画的に行っていただくことを期待します。
- ・学生募集停止という現状ではありますが、学生生活に不便がないような設備補修や備品の購入をしていただきたいと思います。
- ・新型コロナウイルス禍で学生生活を送ってきた現在の学生は、対面コミュニケーションをとることが苦手な傾向にあると感じています。医療や介護の実習先で実習担当者と十分なコミュニケーションが取れるように学校からの実習生についての情報を伝え、コミュニケーションのサポートなどの支援が必要だと思います。
- ・教育環境は先生方のご尽力により常に最新の情報で進められていると思います。今後もそのような環境での授業をお願いいたします。
- ・図書館や体育館などの施設を活用していることは、学生の学習意欲を高めるだけでなく、健康的なライフスタイルの形成にも寄与しているものと考えます。今後も施設を最大限に活用し、学生が主体的に活動できる環境づくりを期待しています。
- ・防災対策に対する取り組みも高く評価できます。定期的な避難訓練や防災教育を実施し、学生の安全確保に努めていただきたいと思います。

自己点検・自己評価項目（基準7⇒6項目）

基準7 学生の募集と受け入れ		
7-25	学生募集活動	
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	非該当
7-25-2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	非該当
7-26	入学選考	
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4
7-27	学納金	
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4
7-27-2	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取り扱いを行っているか	4

学校関係者評価—適切

意見

- ・検定取得、希望職種への就職に向けたモチベーションの維持に尽力されている点を高く評価します。
- ・募集停止により、ますますの就職支援を期待しています。

- ・学習意欲のある学生に対して、専攻科への進学を妨げない学習環境の整備を期待します。
- ・学生募集を行っていないことから、在籍学生へのケアをお願いいたします。
- ・長年にわたり教育活動を通じて、多くの学生が社会で活躍する姿を見守り続けてこられた皆様に、心からの敬意と感謝を申し上げます。建築土木、建築デザイン、インテリア、医療技術、医療ビジネス、総合福祉など、各分野で即戦力となる人材を育成するためのご尽力により、多くの学生が有意義な学びを得て、社会に貢献できる力を身につけてきたと存じます。学生募集の停止という決断は、残念ではありますが、先生方の献身的な努力があつてこそその教育の成果は計り知れません。これまでのご尽力に心から感謝申し上げます。

自己点検・自己評価項目（基準 8⇒6 項目）

基準 8 財務		
8-28	財務基盤	
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3
8-28-2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4
8-29	予算収支計画	
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4
8-29-2	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4
8-30	監査	
8-30-1	私立学校法及び寄付行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4
8-31	財務情報の公開	
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4

学校関係者評価—適切

意見

- ・厳しい財務状況のなか、教育の質を担保するために教職員の皆さんが努力されていることを高く評価します。
- ・退学及び休学の防止や節電、情報公開等大変ご努力されてると思います。引き続きよろしく願いいたします。
- ・財務監査の適切な実施がされている、情報公開も継続してほしいと思います。
- ・学生募集をしていない事からも、財務状況等教職員で共有し、法人全体での共通認識を持つ事が重要と思います。
- ・学校運営の中で、安定した財務基盤を築くための努力に敬意を表します。今後も継続的に改善を図り、

学園全体の発展に寄与されることを願っております。

自己点検・自己評価項目（基準 9⇒7 項目）

基準 9 法令等の遵守		
9-32	関係法令、設置基準等の遵守	
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
9-33	個人情報保護	
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
9-34	学校評価	
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	4
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
9-34-4	学校関係者評価を公表しているか	4
9-35	教育情報の公開	
9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4

学校関係者評価一適切

意見

- ・昨年と同じ意見になりますが、法令等の遵守は組織運営の根幹ですので、引き続きコンプライアンスに対する方針の明確化とチェック、ハラスメント防止にご尽力ください。
- ・引き続き個人情報の保護にご尽力ください。
- ・情報機器の多様化に伴い、学校側においても適切な運用や情報管理が必要となってきますので、引き続き細心の注意を払って運用してほしいと思います。
- ・ハラスメントや個人情報保護などの教育を学校として取り組むことで、社会人としての教養が身につくことを期待します。特に個人情報保護と SNS の適切な利用については医療や介護に関わる人材には身につけてほしい教養です。
- ・学生募集を停止している状況ですが、ホームページ等で御校の教育情報の発信を継続することで就職内定先の企業等への情報提供へつながると思います。是非継続していただきたいです。
- ・法令は解釈の違いにより見解が分かれることがあります。関係省庁との連絡を密にお願い致します。
- ・法令や設置基準の遵守について、関係省庁への報告が適切に実施されている点は評価できます。個人情報保護や情報漏洩など防止策が講じられている点など、引き続き、コンプライアンス意識の向上を図る取組みの継続に期待しています。

自己点検・自己評価項目（基準 10⇒3 項目）

基準 10 社会貢献・地域貢献		
10-36	社会貢献・地域貢献	
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
10-36-2	国際交流に取り組んでいるか	非該当
10-37	ボランティア活動	
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4

学校関係者評価—適切

意見

- ・現在、御校で実施されている地域へのボランティア活動といった地道な活動を、継続的に明るく実施することが有効であると考えます。引き続きご尽力ください。
- ・教育機能の地域への提供（図書館、教室の貸し出し、教員の講師派遣等）は、教育機関として重要な事項です。積極的に行っている点を高く評価します。
- ・社会貢献活動は、学生の社会に向けた関心や意欲向上に繋がると思いますので、今年度の実施を期待します。
- ・近隣住人への教育活動への理解を深めるため、施設貸出等は継続してほしいです。
- ・学生がボランティアや地域活動への興味や関心を持ち、行動できるような情報が集まる窓口を期待します。
- ・学生時代のボランティア活動は授業では得られない貴重な経験だと思います。現在行っている地域でのボランティア等継続をお願い致します。
- ・地域の福祉施設でのボランティア活動を継続的に行っている点は、地域社会との良好な関係構築に大いに貢献しています。継続的な取り組みを期待しています。
- ・学校施設を外部団体に提供する取り組みは、地域社会との連携を強化する重要な手段です。今後も地域社会に開かれた学校を目指し、積極的に取り組んでいただきたい。